



芭蕉誌

琉球大学同窓会関東支部会報誌

第17号

2017年9月発行



昨年(2016年10月)の関東支部総会・懇親会

本年度の総会・懇親会のお知らせ

日時:2017年10月21日(土) 13:00~16:00

場所: 千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館(9F) 喜山倶楽部

会費6,000円

お気軽にご参加ください。
懐かしい、そして楽しい出会いがあります。

※ご不明の点は事務局へメールまたはお電話でご照会ください

編集発行 琉球大学同窓会関東支部・事務局

目 次

P 1	表紙	2017 年度総会・懇親会のお知らせ
P 2	目次	
P 3	高山支部長（初等教育学科 1962 年入学）挨拶	
P 4	大城学長（経済学科 1970 年入学）ご挨拶	
P 5	幸喜本部同窓会会長（保健体育学科 1962 年入学）ご挨拶	
P 6	2017 年度 同窓会関東支部 総会・懇親会の式次第	
P 7	機械工学科同窓会関東支部理事会便り	
P 8	2016 年度総会・懇親会の報告 ①	
P 9	2016 年度総会・懇親会の報告 ②	
P10	同窓生便り	比嘉 徳和氏（法文学部経済学科 1982 年卒業）
P11	同窓生便り	柿内 裕之氏（工学部環境建設工学科 2009 卒業）
P12	岸本正之先生のご講演会を拝聴して	新里 智庸氏（理工学部機械工学科 1967 年卒業）
P13	タイチャーパラダイス 20 周年	仲本 光正氏（法文学部経済学科 1977 年入学）
P14	同窓会関東支部のホームページ、ブログ、ツイッターのご案内	
P15	決算報告、予算案、役員名簿等	
P16	同窓会費納入のお願い、ご寄付のお願い	



株式会社メディア・ワン

代表取締役社長



一般社団法人
関東沖縄経営者協会
Kanto Okinawa Management Association

会長



東京沖縄県人会

会長



仲松 健雄

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-2 神田南口鋭光ビル4F

TEL: 03-5297-4601 FAX: 03-5297-4611 URL <http://media-1.co.jp> E-mail: t-nakamatsu@media-1.co.jp

東京沖縄県人会

名誉会長

渡久山 長輝

（1960年物理学科卒）

囲碁石庭

沖縄県石垣市大川340番地

TEL 090-4399-7835

関東沖縄経営者協会名誉会長
美ら島沖縄大使

（株）日本アドバンス 代表

重田 辰弥

（1959年 法政学科入学）

〒101-0046 千代田区神田多町2-9-6 田中ビル別館6階
BLOG: <http://blog.goo.ne.jp/shigeta-nas>

10月第3土曜日は、琉球大学同窓会関東支部の日

～ご家族や大学の同好会の方々も一緒に、メンソーリョー～

支部長挨拶



琉球大学同窓会関東支部長 高山厚子

1966年 琉球大学勝教育学部初等教育学科卒業後、英文科聴講生
1968年 上京し、富士貿易(株)通訳兼社長秘書
1970～2003年 小学校教諭・教頭・校長で退職(最終校板橋区立金沢小学校)
2003～2010年 板橋区教育委員会・三鷹市教育委員会
2003～2012年 文教大学講師(論策ゼミ)
現在 沖縄料理研究家・沖縄県修学旅行アドバイザー(NHKワールド、あさいち・夕時ネット等テレビ出演多数。著作「緑のカーテンの恵みを食べよう」他

私は、沖縄県へ修学旅に行く全国の中・高校へ出向き、事前・事後の学習の機会に「沖縄の歴史と文化」「平和への願い」などの演題で講演を行う活動をしています。年間約40校で講演を行い、聞いてくださる先生や生徒は1万人余にもなります。その際に、「今年3名も琉球大学へ進学します」「医学部へ進んだ生徒がいます」「数学の教員は琉球大学卒です」などの声を聞きます。琉球大学への認知が全国に広がっていくのは嬉しい限りです。

関東支部同窓会においても、今年もまた若い新しい仲間が増え、10月の総会・懇親会には、機械工学科の同窓会が合流し(2年に一度)、草野球同好会の皆さんが全国からご家族を伴って参加の予定です。この広がりもとても嬉しいですね。

さて、昨年総会ではギネスで世界一の塩と認定されたヌチマース代表の高安正勝氏に、今年6月には世界的にご活躍中の「岸本記念財団」の岸本正之氏に、それぞれご講演をいただき、多くの感銘を受けました。また、沖縄の伝統文化を国内外へ広めている「仲本正光氏率いるクイチャーパラダイス」が創立20周年を迎え、450名余の参加の下に盛大な祝賀会が開催されました。改めて同窓の皆様のご活躍を誇りに思う次第です。

今年の総会では、沖縄県東京事務所長の比嘉徳和

氏(1982年経済学科卒)に「沖縄県東京事務所のあれこれ」を語っていただきます。意外と知らない沖縄県東京事務所。これを機に同窓生とも多くの繋がりが生まれることを期待しています。

世界で、日本国中で活躍する関東支部会員を紹介する『芭蕉誌』を今年も皆様にお届けできますことを嬉しく思います。できるだけ多くの同窓生の活動・活躍をご紹介したいのですが、力が及ばず忸怩たる思いです。この『芭蕉誌』は、企業や同窓生個人の皆様からの広告ご出稿やご寄付が支えになって発行が継続できております。ご協力を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。

今年度も、本部同窓会より支部の活動資金の一部と、本部同窓会の総会へ参加するための旅費の一部ををご支援いただきました。幸喜徳子本部同窓会長はじめ、同窓会本部の皆様にも厚くお礼申し上げます。

最後になりますが、今年も大城肇琉球大学長や多くのご来賓のご参加の下に関東支部の総会・懇親会が開催できますことを心より願っております。今後も、『琉球大学同窓会関東支部ここにあり』をスローガンに関東支部の活動を力強く進めて参ります。皆様のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。



2016年度の同窓会関東支部の総会にて



第16代琉球大学学長 大城 肇

1951年6月23日鳩間島生まれ
1974年 琉球大学法文学部経済学科卒業
1977年 広島大学大学院経済学研究科修了(経済学修士)
2004年 琉球大学アジア太平洋島嶼研究センター長
2005年 琉球大学学長補佐
2008年 琉球大学副学長
2009年 琉球大学理事・副学長
2013年 琉球大学学長

琉球大学の特徴として、ひと頃、「地域特性と国際性を兼ね備えた大学」ということが盛んに言われていました。事実、琉大はそのような大学を目指して発展してきたと思っていますが、果たして実態はどうだったのでしょうか。

本学は、創立の1950年5月から1972年4月まで、米国の州立大学に範を求めたLand Grant Universityとしての地域貢献型大学、ミシガン州立大学の指導を受けた米国型教育システムや大学運営システムと多くの米留帰りの逸材からなる教員組織を擁する国際性のある大学でした。まさに、琉球諸島における最高学府の一つとして、「地域特性と国際性を兼ね備えた大学」の実態があったわけです。

2013年4月に私が学長になった際、挨拶回り先で複数の方々から言われたことは、「琉大がやっと下りてきた!」という意外な言葉でした。それだけ琉大が地域から乖離してしまった、ということを感じずかしながら思い知ることとなりました。大きな歴史の節目は1972年5月15日の施政権の日本返還でした。これを機に、琉球大学は琉球政府立から国立となり、「国立」としての全国的視点や意識が強くなり、地域志向の教育研究というものが希薄になっていきました。その結果、皆さんとの接点が急速に失われ、琉大は遠いところへ行ってしまったと思われていたのです。

そのようなこともあり、琉大は地域に貢献するLand Grant Universityとしての原点に戻り、すべからず地域や産学官との協働による未来づくりに向

かうべきであり、私の学長としての使命もそこにある、と考えて原点からの新たな挑戦に乗り出したのです。時を同じくして、政府も地方創生という政策を打ち出し、国立大学も3類型化され、本学は他の54大学と共に地域貢献型大学のカテゴリーに区分され、地方国立大学の方向性も明確になりました。

本学にとって、地域特性と国際性は、単に立地する沖縄県のもつ亜熱帯性、海洋性、島嶼性などの特性に基づいた学術研究を進めるだけでなく、アジア・太平洋地域をも射程に捉えてその成果を還元し、地域そして世界の有為な人材として卒業生を輩出することが当然のこととして含まれなければなりません。とりわけ、沖縄県では、島嶼県である条件不利性をどう克服するかが産官学にとっての最大の課題になります。その解決のために、本学では、宮古島や石垣島、本島北部に6つのサテライトキャンパスを設置し、市町村との連携事業を展開し、地域振興・活性化のために琉大が果たすべきことに鋭意取り組んでいるところです。産学官連携による留学事業を通じたグローバルリーダーの育成や、地域特性を生かした領域での国際的な大学連携も大きく進展しています(琉大公式ホームページの「学長通信(No.16～18)」をご覧ください)。

琉球大学は、地域性と国際性という鏡の両面を備えた大学として、教育、研究、地域貢献、国際交流の各分野において、実態を備えた大学として成長していきます。同窓会の皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

琉球大学同窓会関東支部の皆様へ

同窓会会長ご挨拶



琉球大学同窓会会長 幸喜徳子

1966年 琉球大学教育学部保健体育学科卒
1966年 県立豊見城高等学校教諭
1967年 日本航空(株) 国際線スチュワーデス
1977年 沖縄石油ガス(株) 取締役常務
1994年 沖縄県国際交流財団 専務理事
2008年 沖縄石油ガス(株) 代表取締役社長
現在、日本簡易ガス協会沖縄支部理事、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県等の各種委員を務める

沖縄ではエイサー、旧盆も終え、次は文化祭、琉球王朝時代の古式行列等が楽しみなこの季節、琉球大学同窓会関東支部の皆様、お元気ですか。

平素より同窓会活動にご協力頂き誠に有難うございます。

貴支部では昨年「ヌチマース」高安正勝社長を講師に講演会を開催、沖縄で生まれた世界に誇る製塩業について理解を一層深められ意義深いことでした。

更に岸本正之顧問の講演会も盛況に終わられたとのこと、その後ロサンゼルスのお宅に度々伺っておりますが、その話題に花が咲きました。ご夫妻の奉仕の精神に基づいたグローバルな活動やお人柄には日頃から敬意を深くしているところです。

特筆すべきイベントの一つに今年、開催された仲本光正氏のリサイタルがあります。東京ヒルトンホテルの大舞台でお弟子さんらが琉球芸能を心から楽しんでおられるお姿に仲本氏の偉業を実感致し、誇りに思いました。その折には同窓会長として真っ先に祝辞を述べさせて頂き光栄でした。

貴支部では高山支部長はじめ役員の皆様が牽引力となり、活発な活動が展開され、力強さを実感しております。

琉球大学同窓会本部では、今年は稲嶺恵一元知事を特別顧問にチャリティゴルフコンペ開催や岸本正之顧問からのご寄附等で増収になりました。その一

部を支部にも還元したく、三役会に諮り例年、本部総会等へは支部長のみの招待ですが、今年に限り2名招待ということに致しました。ご繁忙の中、宮城悟氏にもご参加頂き嬉しいことでした。

又、これまで支部活動費と支部長の交通費を分けて差し上げておりましたが、今年からは合算して活動費とし、支部裁量で自由にお使い頂くということに決定しました。今後とも本部では収入の状況に応じ、柔軟に対応して参りたいと存じております。

本年度は総会に続き、「沖縄の発展を担って その1」として講演会を開催しました。沖縄バヤリース(株)元会長の安里祥徳氏と沖縄県元副知事の嶺井政治氏をお迎えし、会社経営を通して県経済に貢献されたことや、戦後沖縄における行政面での様々な出来事を社会情勢と織り交ぜながらお話頂き、大きな拍手に包まれ終了しました。嶺井氏は94歳のご高齢の為、ご本人の要望により私との対談となりました。

続いて懇親会におけるゴルフコンペ表彰式では日本航空の渡部勝磨支店長より優勝者に東京往復ペア券の贈呈があり、次回大会への期待が高まりました。

今年度もさらに充実した活動を続けて参りますのでどうぞご支援の程、お願い申し上げます。

結びに貴支部の更なるご発展と皆様のご健勝、ご活躍を祈念し挨拶と致します。



2016年度本部同窓会支部長会にて

2017年度 琉球大学同窓会関東支部 総会&懇親会 式次第(予定)

【総 会】

場 所：日本教育会館 喜山倶楽部(飛鳥の間) <http://www.jec.or.jp/>

日 時：2017年10月21日(土)13:00~16:00

式次第 [司会 長谷川敏子] (開会の挨拶・議長選任 中島副支部長)

13:00 挨拶 高山支部長

13:05 挨拶 幸喜会長

13:10 挨拶 大城学長

13:15 議案

2016年度 活動報告&来期活動計画

金城事務局長

2016年度 決算報告&来期予算案

渡慶次会計部長

2016年度 監査報告

奥村会計監査

2017年度 役員改選

金城事務局長

13:25 本部同窓会からの活動費の贈呈の紹介

幸喜会長, 高山支部長

13:30 閉会の辞

中島副支部長

13:35~14:15 ご講演「沖縄県東京事務所のあれこれ」

沖縄県東京事務所 比嘉徳和所長

14:20 記念写真の撮影(参加者全員)

【懇 親 会】

日本教育会館 喜山倶楽部(飛鳥の間)14:25~16:00 [司会 長谷川敏子]

14:30 乾杯(渡久山長輝沖縄県人会名誉会長)

15:00 来賓及び新入会員並びにホームページの紹介

15:35 クイチャーパラダイス

15:50 カチャーシー

16:00 閉会の辞(二次会への案内)(高山支部長)

【二 次 会】

16:30 喜山倶楽部(別室) ※会費は無料です。ぜひご参加下さい。

㈱有限会社 エシマエンジニアリング

代表取締役 江洲 良一

(S 43年 電気学科卒)

東京都足立区千住中居町18-10 野中ビル

Tel: 03-3879-9723

メール: eshima-eng@nifty.com

有限会社ミホロ

店主 名嘉 盛光

(体育学科1970年入学)

〒160-0022 東京都新宿区新宿4-2-16

機械工学科同窓会 関東支部理事会便り

同窓会についての意識調査

機械工学科同窓会の関東支部理事会は第15期を迎え、30年目に突入します。理事会後半の15年の歩みは、「同窓会定例総会」が多くの会員にとって、世代や立場や仕事を越え、日常とはちょっと違う刺激のある交流の場であることを目指した活動に終始したように思います。

しかし、この間、会員の参加意欲の低さや新規会員が増えないなどの状況に、僥越ながら、笛ふけでも踊らずの心境を感じつつ、同窓会関東支部は必要のない存在なのではないかとの思いが常について回りました。ここで一旦立ち止まって、今回、同窓生の意識を確かめる必要があるのではとの思いから、アンケートによる意識調査を実施しました。

【アンケートの主な設問】

(A) 同窓会関東支部について

1. あったほうが良い
2. なくても良い
3. どちらでも良い

(B) 関東支部理事会について

1. 知っている
2. 何となく知っている
3. 知らない

(C) 関東支部理事会活動について

1. 活動に期待する
2. 活動に参加したい
3. 興味がない

【アンケートの結果】（グラフ参照）

[連絡可能会員94通に対して有効回答数] 22通(23.4%)

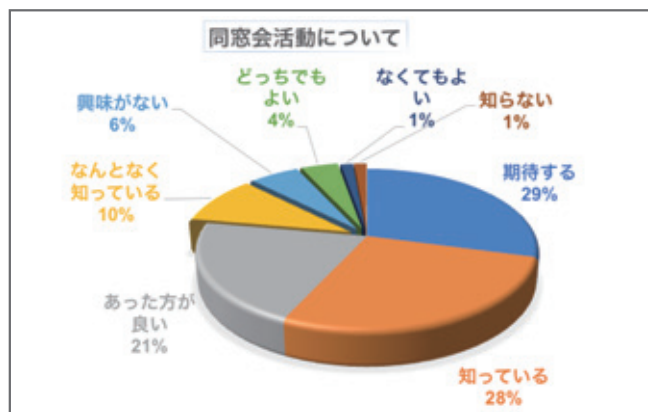
[否定的な項目] 22%

(知らない、なくてもよい、どちらでもよい、興味がない、何となく知っている)

[肯定的な項目] 78%

(あった方がよい、知っている、期待する)

アンケートの結果から、回答率の23.4%は必ずしも満足のゆく数値ではありませんが、同窓の仲間は同窓会の存在を肯定し、活動についての何らかの期待感を持っている傾向が伺えます。



今回の意識調査の結果を踏まえ、同窓会の存在は肯定されていると理解し、今後共、同窓会活動は続けていくこととします。

同窓会会則の目的に「会員相互の親睦、並びに琉球大学機械工学教室との親密なる連携のもとに、工業技術の発展に寄与すること」とあります。

今後の理事会活動は、将来的な同窓会活動の発展を見すえて、「同窓会定期総会」を同窓会活動の目的の一つ「会員相互の懇親」の大きな催しととらえ、ますますの盛会を目指します。他方の目的の「機械工学科教室との親密なる連携のもと、工業技術の発展に寄与する」という社会貢献などについても、琉大の国立大学法人化後の機械工学科が、自主的で自律的な改善改革を進めていく上で今後は、産官学民はもとより卒業生にも多くの協力と支援を求めることは必至であり、ここに機械工学科への「協力や支援活動」を見出すべく余地がありそうなので、検討が必要だろうかと思っています。



理事会



理事会の後の懇親会で

琉球大学(全学)同窓会 関東支部 2016年度総会・懇親会のご報告

日時：2016年10月15日(土) 総会・懇親会 14:00～17:00

場所：日本教育会館 9階 喜山倶楽部

参加者：60余名

関東支部では、2016年10月15日(土)に、御来賓として大城肇学長、本部同窓会の幸喜徳子会長、東京沖縄県人会の仲松健雄会長にご臨席いただき、会員約60名の参加を得て16年度の支部総会及び懇親会を開催いたしました。

16年度総会の目玉企画として、株式会社ぬちまーすの高安社長に、当同窓会誌部の為にお忙しい中わざわざ沖縄からお越しいただき、「ぬちまーす」の発明から製品化に至る経過をご講演していただきました。そのバイタリティあふれるお人柄もあり、楽しく、わかりやすく、

興味深い講演内容となりました。

昨年同様、懇親会に引き続き二次会を同一施設で行ったこともあり、ほとんどの方がそのまま参加され、大いに盛り上がりました。学長や同窓会会長を含め、世代の垣根を越えた同窓会らしい懇親の場になりました。

今後は、会員だけでなく会員のファミリーも参加できる企画を立て、また、草野球同好会のようなサークルごとの仲間に声を掛け合うなど、参加者の増員へ向けて同窓会のあり方を工夫して参りたいと思います。

総 会



支部長挨拶



学長ご挨拶



同窓会会長ご挨拶



中島副支部長の活動報告



会計報告(仲宗根さん)



会計監査報告(奥村さん)



司会(長谷川さん)



品質薬事部長

知 名 定 則

テカンジャパン株式会社

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580-16
川崎テックセンター



代表 小 泉 ケイ子
KO I ZU MI KE I KO

一般土木工事・軌道工事
認定：(一般)第54246号

株式 会 社 会 縄 軌 道
AI NA KI DO

本 社 〒243-0422 神奈川県海老名市新田3-36-24
TEL.046-233-7998 FAX.046-233-7588
E-mail: keiko@ainakido.com
携 帯: 090-3546-5215

講演会

(株)ぬちまーすの高安社長によるご講演



懇親会

例年のようにクイチャーパラダイスに盛り上げていただきました



創業明治38年
琉球泡盛 **松藤**

専務取締役 **崎山 淳子**
Junko Sakiyama

崎山酒造廠 伊芸工場/沖縄県国頭郡金武町宇伊芸751番地
TEL.098(968)2417・FAX.098(968)2463

ふれあい いきいき。
Orion

外販部
東京営業所 所長
福元 淳

オリオンビール株式会社
営業所 東京都中央区八丁堀4丁目13-5 幸ビル2F 〒104-0032



沖縄県立 首里高校卒業
 1982年 琉球大学法文学部経済学科経営学専攻卒業
 1982年 沖縄県庁採用
 1984年～1989年 自治省(現総務省)勤務
 2011年 企画部市町村課長
 2012年 企画部企画調整統括監
 2013年 総務部総務統括監
 2014年 県議会事務局長
 2016年 東京事務所長

東京事務所あれこれ

これまで、県の職場では企画部勤務が長く、沖縄の将来ビジョンである沖縄21世紀ビジョンや、県行政の基本計画となる沖縄21世紀ビジョン基本計画の策定などに取り組んできました。その後普天間基地問題で与野党が激しくぶつかる県議会の事務局長をへて2016年4月に東京事務所長となりました。単身赴任ゆえの炊事洗濯など、慣れない家事をこなしつつ東京での生活を充実させようとあれこれ奮闘しているところです。おかげさまで女子力？も向上してきました。

ところで、東京事務所といっても何をしているところかわからない方々がほとんどだと思いますので、この場を借りてあれこれ紹介し、今後東京事務所を身近に感じ活用していただければと思います。

まず、その歴史をひもとくと、始まりは1951年、戦後6年目に琉球臨時中央政府駐日貿易代表事務所が丸の内の三菱21号館23号室に設置されました。それが戦後東京事務所の始まりです。その後琉球政府東京事務所となり、復帰後は沖縄県東京事務所となって現在に至っております。



「沖縄県東京事務所スタッフ」

今の場所は、千代田区平河町の都道府県会館（各都道府県の東京事務所が入居しています）の10階にあります。

嘱託を含め職員は20人強、3つのチームで編成され、一つ目が国政情報チーム、二つ目が首都圏営業チーム、三つ目が企業誘致チームです。実は、このチーム制は2016年4月にスタートしたばかりです。

国政情報チームの仕事は、知事の政策実現に向けて、官邸、内閣府他各省庁、自民党、公明党、民進党などの各党との連絡調整、情報収集等を行い、また必要な調査を行うなど県行政推進の水先案内の役割を担っております。加えて将来の沖縄を担う県内高校生の東京での就職のお世話をしております。

首都圏営業チームの仕事は、観光リゾート産業の振興、物流拠点形成、県産品販路拡大、航空路線誘致等に向けて営業活動を展開しています。また各イベントや県人会などの連絡調整などを通じて沖縄ネットワークの拡充強化を図っています。最近では観光物産関連企業の東京支社をつなぐ連絡会を立ち上げたところです。

企業誘致チームの仕事は、製造業関連、情報関連産業など県経済進展を後押しする企業の誘致を担っており、最近では、アジアへの近接性やANAハブ等による物流の速さなどをセールスポイントに誘致活動を展開し、平成27年は25社（製造関連5社、情報産業関連20社）を誘致したところです。

近くにおいでの際は、気軽に立ち寄って、私や職員とゆんたく[※]し、情報交換などをしていただければと思います。美味しいアイスコーヒーを用意しています。（※ゆんたく＝おしゃべり）



福岡県 九産大付属九州高校卒業

2009 工学部環境建設工学科建築コース卒業

2013 ミラノ工科大学大学院 建築学科卒業

2015 (株)毛利建築設計事務所入社 主にODAプロジェクトに従事中

沖縄、イタリア、そして世界へ

沖縄に行くこと、建築家になること、この二つが小さい頃からの夢でした。福岡の高校時代、進路を決める時は、いつも琉球大学のみを希望校に上げていました。そして、一年間の充電期間を経て、念願の琉大工学部環境建設工学科建築コースに入学出来ました。

大学の4年間は、設計課題の提出に追われながらも、コンペに応募したり、設計事務所で手伝いをしたり、友人たちと一緒に製図室、研究室に泊まり込みながら、徹夜で作業に打ち込み、充実した日々を過ごしていました。また、様々な建築物を見る旅に出ることも大切にしていました。

一方で、沖縄文化を経験するためにエイサーサークルに入り、夏休みの間、毎日汗を流していました。懐かしい青春の日々です。

大学卒業後は地元福岡に戻り、建築設計事務所で働きながら実務経験を積みました。一年目から、多くのプロジェクトに関わらせていただき、がむしゃらに働きました。少しずつ経験を積み、忙しい日々を過ごしていましたが、いつも大学中に生まれた新しい夢が忘れられずにいました。それは、イタリアで建築を勉強することでした。

琉大に在籍中、休暇を利用して建築の勉強のために欧州を一人旅している途中に訪れたイタリアで、その街並みや文化、自然に魅せられました。時間が経つにつれ、いつかまたあの場所に戻って建築の勉強をしたいと夢見るようになりました。そして、福岡の設計事務所でいろいろな経験を積んだ後、家族や

友人からの多くの支援により、ミラノ工科大学大学院に入学することが出来ました。

ミラノでは多くの留学生たちと共同で研究を行いプロジェクトに携わりながら、講義の合間をみて現地の設計事務所で働きました。その設計事務所でも様々なプロジェクトに関わることが出来、イタリア人のスタッフたちと一緒に生活しながら、彼らのデザインに対する感性、働き方、人間性を知ることが出来たことは、今でもとても大きな心の糧となっています。

イタリアでの大学院を卒業後、琉大の建築コースの先輩の勧めで、現在の東京の設計事務所入ることとなりました。この事務所では、アジア、アフリカ、中米の発展途上国で小、中学校や教員養成学校を創るプロジェクトをメインに担当しています。

琉大で学んだ知識やイタリアでの経験を活かし、少しでも人々の役に立つ仕事をしたいと思っています。また、多くの人の助けにより、恵まれた環境で勉強できた今までの経験を、貧しい国の子供たちのために還元していきたいと考えています。そして、いつか一人前の建築家として、沖縄でも多くの人に喜んでもらえる建築を創造できる日を夢見ています。



岸本正之先生ご講演会 「明日の地球社会を読む」を拝聴して

本年4月16日、東京赤坂に於いて岸本正之先生の特別講演会、「明日の地球社会を読む」を拝聴することが出来てとても感銘を受けました。岸本先生は1957年に琉球大学英文科を卒業されたわれわれの大先輩であり、同郷(名護)である高山支部長の御尽力により今回の講演会が実現の運びとなりました。

実は、2年ほど前に、恩師である琉球大学機械工学科名誉教授の山里栄昭先生から、岸本先生のご活躍と先生の著書『私たちは小さな水の星に生きている 地球政府の樹立を目指そう』について聞いておりましたが、図らずも今回、先生じきじきのご講演に接する幸運に恵まれ、とても感激いたしました。

誰もがアメリカンドリームを夢見た時代にアメリカで50数年を過ごされ、その間にNPO活動としての自然保護、飢餓救済、教育支援など100以上のプロジェクトを実践しておられることをお話しされました。生涯のメンターの存在が大きかったとのことですが、ご夫妻のマラウイやサモアなど多くの国々での実体験に基づく信念から生まれ育った事業であると強く感じました。

さらに、ご夫妻は、未来の人生の幸せを前進させるために生涯にわたる社会奉仕はもとより、没後社会奉仕にも取り組みたいとお話しでした。没後社会奉仕とは、エンドウメント(母校への遺贈基金)の運用資金を提供することで、没後100年経っても社会貢献、高等教育への貢献ができるとの考え方だと聞き、ただただ驚くばかりでした。

人生の意味、社会のあるべき秩序とはなにか、そしてグローバルコミュニティーはどうあるべきかを考える際に、現在起こっていることは何かを見てみると、「1.ナショナリズムがグローバリズムに吸収される 2.自由資本主義体制の終焉 3.格差社会の秩序が是正される 4.国境の希薄化が進む 5.人類は一つ、世界は一つの民主国として成り立つ」などが起こっているとされ、それらをさらに後押しすることが「地球市民の義務であり、地球政府樹立を可能にする」と説かれました。

質疑応答では、本家米国のエンドウメントについての質問に、大学本来の業務から発生する資金と、長期的な運用のための資金は切り離した上で管理されているため、基金の運用自体が大学の経営に影響を及ぼすことは無いとのお答えでした。日本でエンドウメントと云えば、大学基金運用において何校かの私立大学がデリバティブ商品取引に手を出し、2008年のリーマンショックのあおりを受けて、大きな含み損を計上して話題となりました。そんなことからエンドウメントは必ずしも良い印象を与えていないように思いますが、近年、東大などがエンドウメントに取り組む情報もあり見直されつつあるようです。

今回は大いに刺激を頂いた貴重な90分でした。本当にありがとうございました。

琉球大学機械工学科1967年卒業
のりつね
新里智庸



公演中の岸本先生



熱心に聞きいる聴衆の皆さん



岸本ご夫妻を囲んで

仲本光正氏が率いるクイチャーパラダイス 創立20周年を迎え、さらにその先へ

クイチャーパラダイスは、沖縄の音楽と舞踊を全国に広めたいという仲本光正氏の情熱を具現化する場として1996年に創立された。当初3人の弟子と共に立ち上げた三線教室は、現在では25人の師範が、200箇所の教室で1万人の生徒を教える規模にまで発展した。

仲本氏は1957年宮古島生まれ。1977年に琉球大学法文学部経済学科に入学。卒業後は会計士を目指して上京したが、故郷宮古島に貢献できる道を模索する中で三線にたどり着いた。子供の頃から地元の祭りで速引きをする大人たちに憧れ、高校に入ると三線を弾き始めたが、本格的に修行を始めたのは東京においてである。12年の修行の後に独立し、クイチャーパラダイスを立ち上げた。大きな目標は、毎週宮古島に弟子500人を連れて行き、発表会を行うこと。弟子を30万人まで増やせば可能であると試算して、70歳までに達成したいと考えている。

昨年クチャーパラダイスは創立20周年を迎え、今年2月7日には東京ヒルトンホテルで祝賀会が開催された。450人の参列者があり、大盛況であった。しかし、

これもひとつの通過点に過ぎない。現在、仲本氏は「宮古島国際文化交流フェスティバル2019」というイベントを企画中である。これは、JTA宮古島ドームを主会場に、2019年6月1日からの10日間で、国内外100以上の団体、5000人以上の奏者・演者が300以上の演目を披露するという巨大な祭りである。仲本氏はこのイベントのために、今奔走を開始している。



20周年祝賀会



祝賀会で挨拶する仲本氏

press release

南都酒造所

ハブのチカラを明日のチカラに!
「琉球ハブボール」新発売

水だけで100日以上生きるといわれているハブの不思議な生命力。その神秘的な生命力を持つハブのエキスを香りの高い13種類のハブのエキスをダブルブレンドした沖縄生まれの新感覚ハイボール「琉球ハブボール」。

琉球ハブボールについてのお問い合わせ

株式会社南都 南都酒造所 東京店営業所 代表者 大塚正広

TEL 03-6661-0831 FAX 03-6661-3373

株式会社南都 南都酒造所 営業課 担当者 奥部 健

TEL 0120-710-611 FAX 098-949-1333

E-mail the-osake@gyokusendo.co.jp

http://www.nantousyuzo.com/habuball/

遠く離れ暮らしても忘れぬ
生まれ島、沖縄♪

いよいよ東京にオキナワスタッフ 事業部がオープンになりました♪

沖縄出身者の転職応援、派遣の紹介をします。
代表は人材業界30年で沖縄の東風平出身の新垣進でございます。皆さんの周りの子供、親戚、友人に勧めたい仕事一杯。営業職・販売・事務職など高収入の仕事も一杯



株式会社
オールビジネスリンク
代表取締役 新垣 進

関東沖縄経営者協会 副会長
東京沖縄県人会 副会長

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-24-3 内神田STビル5F
TEL: 03-3251-6315 FAX: 03-3251-0305 携帯 090-8476-4426
E-mail: shingaki@all-biz-link.co.jp

●琉大出身ではありませんが渡久山長輝さん、高山厚子さん、宮城重哲さんと親交あり。

琉球大学同窓会関東支部の インターネットによる情報発信

琉球大学同窓会関東支部では、webサイト、twitter、facebook、ブログを通じて最新情報を発信しております。下記サイトへのアクセスをよろしくお願いします。

webサイト

<http://ryudaikant.s17.xrea.com/>



ブログ

<http://ameblo.jp/ryudaikanto>



Twitter

<https://twitter.com/ryudaikanto>



Facebook

<https://www.facebook.com/ryudaikanto/>



電子新聞

「沖縄タイムス プラス」

今日の朝刊が朝5時に読める!!

詳しくは

<http://www.okinawatimes.co.jp>

東京支社長

具志堅 毅

〒104-0061 東京都中央区銀座8-18-1 銀座木挽町ビル6階

TEL: 03-6264-7878 FAX: 03-6226-1200

琉球ステムセル株式会社

Ryukyu Stem Cell CO., Ltd

再生医療コーディネーター

宮城 重哲
MIYAGI Shigenori

〒903-0215 沖縄県西原町字上原207番地
琉球大学医学部 ロート再生医療研究センター1F
E-mail: shigenori_miyagi@yahoo.co.jp
携帯: 070-6454-3281
連絡先: ロート製薬株式会社 東京支社
〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20 20F
TEL: 03-6832-6014 Fax: 03-6832-6024

株式会社



代表取締役

高安 正勝

〒904-2423 沖縄県うるま市与那城2768
TEL: 098-983-1111 FAX: 098-983-1112
E-mail: info@nutima-su.jp



沖縄三線音楽
クイチャーパラダイス

代表 仲本 光正
nakamoto mitumasa

〒171-0031
東京都豊島区目白2-16-22 ロンアイル池袋303
宮古島大使館内
TEL 03-5396-7878 FAX 03-5396-7879
MAIL info@quipara.jp URL <http://quipara.jp/>

沖縄料理研究家
修学旅行アドバイザー

高山 厚子

(初等教育学科 S41 年卒)
沖縄料理研究家

メール: takayama2002atsuko@yahoo.co.jp
ブログ: 「空飛ぶあっちゃん」発信中

中島信一郎法律事務所

弁護士 中島 信一郎
(1975 年法政学科入学)

住所: 〒104-0061 中央区銀座4丁目9-6
陽光銀座三原橋ビル6階
電話: 03-6226-2200

2016年度決算報告 & 2017年度予算案

単位:円

決算報告書(2016.9.1 ~ 2017.8.31)

来期(2017年度)

収支報告書		期首予算	差額	摘要
収入				
前期繰越	602,362	602,362	0	
総会費	300,000	175,000	-125,000	出席者35名
寄付金	100,000	90,500	-9,500	
組織強化金(本部より)	100,000	100,000	0	
広告料収入	100,000	80,000	-20,000	
受取利息	0	58	58	
合計	1,202,362	1,047,920	-154,442	
支出				
事務用品費	30,000	2,635	-27,365	
通信費	100,000	116,208	16,208	
封筒作成費	0	0	0	
会報誌作成費	150,000	146,500	-3,500	
総会費(二次会込)	270,000	281,778	11,778	泡盛寄付他
会議費	20,000	20,000	0	
雑費(お花代他)	30,000	16,858	-13,142	
次期繰越	602,362	463,941	-138,421	
合計	1,202,362	1,047,920	-154,442	

来期予算	摘要
463,941	
300,000	6,000円×50名
100,000	
100,000	
100,000	
0	
1,063,941	
30,000	
100,000	
0	
150,000	
270,000	
20,000	
30,000	
463,941	
1,063,941	

貸借対照表(2017.8.31現在)			
資産の部		負債・繰越金の部	
普通預金	463,941	未払金	0
未収金	0	次期繰越金	463,941
合計	463,941	合計	463,941

2017年度 役員名簿

支部長	高山 厚子	初等教育学科	1966年卒
副支部長	中里 朝幸	数学科	1960年卒
副支部長	崎浜 浩一	機械工学科	1965年卒
副支部長	島袋 朝順	電気工学科	1968年卒
副支部長	江洲 良一	電気工学科	1968年卒
副支部長	仲本 光正	経済学科	1981年卒
副支部長	名嘉 盛光	体育学科	1974年卒
副支部長	中島 信一郎	法政学科	1975年入
副支部長	宮城 悟	法政学科	1976年入
事務局次長	金城 利光	法政学科	1975年入
事務局次長	比嘉 勝也	法政学科	1976年入
事務局次長	池田 正人	経済学科	1986年入
事務局次長	三村 邦彦	電気情報工学科	1992年卒
事務局次長	糸数 昌史	電気情報工学科	1991年卒
事務局次長	永田 幸江	法政学科	1995年卒
芸能部次長	比嘉 千都代	心理学科	1968年卒
総務部長	高橋 清志	物質地球科学科	1998年入
会計	渡慶次 奈月	国際言語文化学科	2009年卒
会計監査	奥村 弘美	養護科	1976年入
顧問	渡久山 長輝	物理学科	1960年卒
顧問	桑江 良奉	英文学科	1950年卒
顧問	中島 政彦	教育学科	1954年卒
顧問	喜友名 朝昭	商学科	1961年卒
顧問	砂川 義信	法政学科	1964年卒
顧問	重田 辰弥	法政学科	1959年入

2016年度活動報告

第1回幹事会 2017年2月22日(水)18:00 ~
 第2回幹事会 2017年3月21日(火) 18:00 ~
 岸本正之氏「琉球大学岸本基金設立」講演会
 2017年4月16日 14:00 ~ 15:30
 第3回幹事会 2017年5月18日(木) 18:00 ~
 第4回幹事会 2017年7月20日(木) 18:00 ~
 平成28年度本部同窓会 2017年7月29日(土)
 高山支部長、宮城悟さん 出席
 第5回幹事会 2017年 8月18日(金)18:00 ~
 第6回幹事会 2017年 9月 8日(金)18:00 ~
 総会・懇親会 2017年 10月 21日(土)13:00 ~ 16:00



**この島は
元気です**

久米島の久米仙 www.k-kumesen.com
 本社・工場/沖縄県島尻郡久米島町字学江城2157 TEL.098-985-2276(代)

宮城 悟
 (法政学科1979年卒)

国際心相科学学会 会長
 〒111-0031 東京都台東区千束1-6-1-905
 Tel: 03-5808-3639

事務局からのお願い

総会・懇親会へのご出席

琉大の出身者で関東にお住まいの方は、全て同窓会関東支部の会員です。毎年、10月の第3土曜日の総会・懇親会にはお気軽にご出席下さい。かつての学科やサークルの仲間と会う機会としてご利用いただき、同窓会を盛り上げて下さい。

ご寄付のお願い

関東支部は、会員相互の懇親や情報交換だけではなく後輩たちの社会進出にも貢献したいと考えています。その為の資金として、今年から皆様にご寄付をお願いすることにしました。ご協力のほど宜しくお願いします。

振込先(郵便局口座) 郵貯銀行から振り込む場合:(記号)10500 (番号)52592781

他金融機関から振り込む場合:(店番)058 (預金種目)普通預金 (口座番号)5259278

琉球大学同窓会 関東支部

支部長:高山厚子 (初等教育学科 1962年入学)

事務局長:金城利光 (法政学科 1975年入学)

連絡先:nakasone@nakajima-law.net

事務局住所:〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目9-6

陽光銀座三原橋ビル6階

(中島信一郎法律事務所内) Tel:03-6226-2200

ホームページ:<http://ryudaikant.sl7.xrea.com/>

芭蕉誌 第17号 琉球大学同窓会関東支部会報誌 【禁・無断転載】

発行人:中島信一郎(法政学科 1975 入学)

発行日:2017年9月20日

編集人:金城利光(法政学科 1975 入学)

発行所:琉球大学同窓会関東支部事務局

遺贈基金で永続的に母校へ貢献

元金の運用益を寄付する究極の経済貢献 永続的に寄贈が続けられます

母校へ経済的に貢献したいとお考えの皆様、「遺贈基金(エンドウメント)」という方法をご紹介します。個人やグループでまとめた元金を運用し、その運用益のみを母校へ寄贈するものです。元金が減らず、永続的に寄付を続けることができます。欧米の大学では人気ですが日本の大学ではまだ数校しか例がありません。

2017年4月、岸本ファミリー個人慈善基金は、琉球大学と遺贈基金の寄贈を締結いたしました。母校へ経済的に援助したいとお考えの方は琉球大学同窓会へお問い合わせください。



新刊『地球政府2017』 9月発売開始 全国の書店でご注文できます

岸本正之 著 文芸社 1,800円

戦争を起させない地球を創る! 無限宇宙に浮かぶ小さな水の星。生命が宿る唯一の星。人は皆、地球と云う名の星をこよなく愛する。星に願いをこめて地球政府を設立しよう。その使命を遂行する機は熟している。2015年『私たちは小さな水の星に生きている』刊行から2年。最新のスーパーコンピュータやAI(人工知能)が膨大な人類興亡史を解析し、来るべき人類の未来社会の新秩序を予見する書。

創作者 岸本正之 多摩子



岸本ファミリー個人慈善基金

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-3 ラ・トゥール千代田2308
TEL.(03) 3512-5011 FAX(03) 3512-5012 office@kishimotofoundation.org

